

わくわく と ぽんぽん



第1回郡山DAKARA音楽祭(H21. 5. 5開催)の様子



今回のお楽しみ

郡山DAKARA音楽祭	・・・P 2～3
わくわく！ボランティア	・・・P 4
市民活動ときめきリレー	・・・P 5
アシストパークだより	・・・P 6～7
協働ひろば	・・・P 8～9
市民活動掲示板	・・・P 10～11
レッツ！学校ボランティア	・・・P 12





《芳山公園》

特集

第1回 郡山DAKARA音楽祭

～オールジャンルの音楽、手づくりで一つになった日～ 2009. 5. 5

○ 県内各地から60組150名が出演

音楽と郡山のまちを愛する人たちによる手づくりの音楽祭「第一回郡山DAKARA（だから）音楽祭」は、天候にも恵まれ大盛況に終わりました。

第一部は午前11時から午後3時まで、中心市街地の各会場11か所で、第二部は午後5時30分から8時まで駅西口駅前広場でフィナーレイベントが行われました。

演奏ジャンルはクラシック・フォーク・ジャズ・ヒップホップ・ロックなど多岐に渡り、市内を中心に県内各地から約60ユニット、150名が出演。

街中に流れる心地いい音楽、人の群れに吸い込まれるように、老若男女問わず、多くの市民が足を止める姿が印象的でした。

○春の音楽祭を振り返る

この音楽祭を振り返って
いかがでしたか？

まちや個人が持っている財産や能力を生かして、活性化を図りたいと思い開催しました。不安もありましたが、結果としては全体的に百点でした。ボランティアで当日来ていただいた方も含めて、実行委員の皆さんが各所でよく運営をしてくださいました。企業からも、今後も開催してほしいという嬉しいお言葉もいただき、充実感と達成感でいっぱいです。

開催しようとしたきっかけは？

今年2月に開催された市の講演会



「皆さんの協力
があつての成功。
感謝です。」と
語る宗形委員長

に参加し、郡山でも出来そうだと考え、そこから約3ヶ月でかたちとなりました。呼びかけで各分野のプロが、スタッフとして参加してくれたのも心強かったです。

今後の抱負をお聞かせください？

今後は別のかたちになるかもしれませんが、いろいろなかたちでの受け皿を提供していきたいです。

市民の協力次第で、郡山は、もっと魅力的な街になるのですから。

◆来場者の声

新聞で開催を知り福島から来ました。来て良かった。(50代女性)

歌も上手で天気も良くとても良い一日でした。(20代女性)

懐かしいフォークが聴けてうれしかった。(60代男性)



《駅前広場でのフィナーレ》



わくわく！ ボランティア



〈市民協働推進課で初出展の「ユニバーサルデザイン・キッズコーナー」でも高校生ボランティア8名が大活躍。車椅子などを使用しての体験コーナー等をサポートしていただきました。写真は、ボランティアの高校生と職員〉

「子どもとふれあえて楽しかった。」

「また、ぜひ参加したい。」と感想をいただきました。（関連P9）

ボランティアへの関わりは、人それぞれ。そして、よく耳にする催しが、実は、ボランティアの方々の活動により支えられている場合があります。

今回は、郡山市を代表する催しの一つ「こどもまつり」を紹介します。



市民が支えるまつり

今年、44回を迎えた「こどもまつり」。5月5日に開成山公園をメイン会場として、さまざまな事業が催され、市内各所で子どもたちの元気な姿やはじける笑顔がみられました。今年も、各団体の思い思いの趣向を凝らしたコーナーが出展されましたが、のべ32団体、約5百名の方に

協力をいただきました。

こどもまつりは、昭和41年の第1回から、各種団体の参画のもと、実行委員会を組織し実施してきました。まさに、行政と市民が力を合わせながら事業を実施する「協働」事業の始まりとも呼べるものではないでしょうか。



高校生も参加

特徴として、高校生のボランティアの参加があげられます。

中学生、高校生で構成する郡山少年団体リーダーズクラブの参加に加え、市内の高校13校から、224名が参加をしました。子ども達のよきお兄さん、お姉さんとして、運営を盛り上げていただきました。

10代での体験は、高校生にもよい経験になったものと思います。



市民活動

ときめきリレー

市民活動を
されている
方々をリレ
ーで紹介し
ます。

今回ご紹介するのは、こおりやま
若者サポートステーションの
鈴木 綾さん です。

「出身は？」

福島市ですが、物心ついたときは、郡山に住んでいました。

「趣味は？」

登山と自転車と晩酌とジョギング
とアニメ（エヴァンゲリオン）鑑賞
です（笑）。

具体的にどんな市民活動をしているの
ですか？

厚生労働省委託事業、こおりやま若
者サポートステーションを運営して
います。

そこで職業的自立を目指す若者の
支援を行っています。

活動をするきっかけになった出来事は
何ですか？

福島市にある、フリースクールBe
ans（ビーンズ）ふくしまで子ど
もの居場所づくりを行っています
た。その中で、学齢期を越えた若者
たちとの出会いがあり、その方々の



「事務所は、市役所の
後ろにあります。お気軽
にお立ち寄りくださ
い。」と語る鈴木さん。

社会参画のお手伝いをするようにな
りました。
市民活動をしていて良かったと思うこ
とはどんなことですか？

関わる利用者さんが夢を達成した
り元気になっていく様子を見ること
や、この事業を応援・支援してい
だっている地域の方々との出会い、一
緒に活動できる事です。

自分が育った郡山で、このような
活動が出来るのは、とても幸せです。

（連絡先： ☎954-3890）

次回は、鈴木さんの紹介で、大
槻探訪編集室代表の石塚通さん
の予定です。お楽しみに！



《若者と酪農ジョブトレーニング》
就業相談のほか酪農体験など就職に
生かす研修をしています。

（中央：鈴木さん）



あしすとばあく だより

6月から7月までの事業案内をはじめ、アシストパーク郡山で行った事業を報告するコーナーです。(アシストパーク郡山はビッグアイ6階にあります。)

◆ぐうちよくばあく

偶(ぐう)数月に率直(ちよく)な意見をアシストパーク(ばあく)で話し合い。

市民活動交流サロン「ぐうちよくばあく」にぜひお出かけください。

6月(第2回)のテーマは…
環境の保全活動に取り組んでいる
団体・関心のある皆さんによる情報
交換です。
交流が深まる絶好の機会です。

日時▼6月27日(土)

午前10時～正午

会場▼ビッグアイ7階

特別会議室

定員▼20名 ※参加無料

対象▼テーマに関心のある方なら
どなたでも

申込▼アシストパーク郡山の窓口、
電話またはEメールで

◆みなさんの活動周知のよい機会

《市民自主企画・イベントの募集》
事業の企画から運営までを実施できる団体や個人の方(主に郡山市内でNPO活動やボランティア活動を行っている方)が自主的に行う講座、講演会、研修会、イベント(広く一般市民の方を対象に企画する講座)などについて、アシストパーク郡山で募集し、認定後に広報PRなどのお手伝いをします。

募集内容は、一般公開が可能なもので、平成22年3月31日までに実施する事業を対象とします。

申し込みは、年度内いっぱい受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

※応募用紙は、アシストパーク郡山のホームページにあります。
アイディアの実現に向けて、ぜひご検討ください。

現場から

ぐうちよくばあく

「自主企画講座・イベントの支援、地域づくり助成事業について」

4月25日（土）、ビッグアイア

階第1会議室で開催しました。

市が行う補助金や助成金に関する情報提供を行った後、今後団体に必要とされる課題やその解決策において積極的な話し合いが行われました。



《会場の様子》

「資金面の情報が得られ、他団体と交流でき有意義だった」という意見がありました。



市民活動応援講座

「成果を生む会議の開き方」

5月31日（日）、ビッグアイア

階第3会議室で開催しました。

何のために会議をするのかという基本から、充実感を持てる会議にするには何が必要かなど、実践を通し、会議をデザインしながら手法を学びました。



《会場の様子》

「時間があっという間に過ぎた」など嬉しい感想をいただきました。

◆市民活動サポートメール登録者募集

先月からサポートメールの配信をはじめました。

サポートメールの主な内容は、

- ① 助成金等情報
- ② 市民協働推進課からのお知らせ
- ③ 市民活動団体の情報
- ④ 講座・イベントのお知らせ
- ⑤ その他、必要とする情報

です。配信日は原則毎月10日とし、土日祝祭日と重なった場合は、その前日にお届けし、助成金募集案内やイベント開催における告知などは必要に応じて随時発信いたします。

サポートメールの配信登録をするには、郡山市ホームページ「市民協働サポートメール」へアクセスいただき、登録画面より必要事項を入力していただくこととなります。

協働ひろば



市民協働推進課は、市民協働推進係（分庁舎3階 TEL 924-3471）と市民相談センター（分庁舎1階 TEL 924-2155）、市民活動サポートセンター（愛称：アシストパーク郡山（ビッグアイ6階 TEL 924-3352）で、組織されています。市民協働推進係の話題を中心にお知らせします。

「活用ください！」

市民活動を応援します

「具体的な計画がある団体」

①郡山市ひとまちづくり活動

支援事業

市民の皆さんが主体的に行う地域づくり活動や、市と協働で進めることで「まちづくり」への波及効果が期待できる活動を行う団体を支援するため、具体的な計画を策定する活動や実践活動にかかる経費の一部を助成します。

対象▽①地域づくり活動への取り組みやそのきっかけとなる活動等 ②地域社会の活性化や課題解決など、まちづくりへの取り組みやそのきっかけとなる活動等
※8月以降に開始する事業
補助額▽対象経費の2分の1以内（限度額20万円）



申込期間▽7月1日（水）

7月31日（金）

「人材育成のために、講習会を受講したい団体」

②郡山市ひとまちづくり人材育成事業

育成事業

新たな活動を展開しようとしている市民活動団体に対して、人材育成の面で支援するため、知識や経験豊かな専門講師から、助言や知識を得るための講座等の受講にかかる経費の一部を助成します。

対象▽市民活動団体が計画する新たな事業展開の推進に貢献すると市が認める講座

※市民活動に関する事例発表や講演会等も含まれます。

補助額▽対象経費の2分の1以内（限度額5万円）

【申込期限】受講したい講座等の開催2週間前まで

○「市民活動ガイドブック

「はじめの一步」を

「活用ください！」

興味をお持ちの市民の皆さんも、「市民活動って何?」「地域活動ってたいん!」などなど、市民活動に対する印象もさまざまだと思います。

このガイドブックは、町内会の活動や地域づくり、ボランティア活動、NPO活動など、実践者の声も交え、わかりやすく案内をしています。また、市民活動を進めるための相談窓口や支援制度なども紹介しています。市民協働推進課（分

「こおりやまユニバーサルデザイン推進指針」ができました！

～全職場に、「ユニバーサルデザイン推進リーダー」を配置～

本市のまちづくりの方向性を示す「第五次総合計画」において、重要な施策の一つと、位置づけされている「ユニバーサルデザイン」。

市民や事業者の皆さん、そして、行政が、互いの立場を尊重し、協働のもと推進するための指針として、「こおりやまユニバーサルデザイン推進指針」を策定しました。



庁内研修会の様子

庁内では、全職場に、「ユニバーサルデザイン推進リーダー」を配置。去る6月5日には、研修会を実施しました（写真）。

▼キーワード：「心とこころ みんなで奏でる思いやり」

「思いやり」「心のユニバーサルデザインの推進」、自己と他者の違いを認め合い、みんなで取り組んでいくという意味を込めています。

また、推進のための3つの視点として、①気づき ②広げる ③つなぐ を定めています。

※ ユニバーサルデザイン推進指針の詳しい内容は、

URL▼

http://www.city.koriyama.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=14540

でご覧いただけます。

庁舎3階）、アシストパーク郡山、各公民館の窓口で配布していますので、ぜひ、ご活用ください。



○市ウェブサイトでも

情報提供を始めました。

市民協働推進課や各部署で行っている地域づくりやボランティア活動、市民活動の支援につながる支援制度の情報について、市ウェブサイトで公開している市民協働推進課サイトマップ内に各種制度一覧を作成しました。ぜひ、アクセスのうえ、ご活用ください。

（問：市民協働推進課

☎：924-3471



助成金

公益信託うつくしま基金

(第7回・後期)

締切日▼6月29日(月)

URL▼<http://www.utsuku>

shina-npo.jp/

問合せ▼〒963-800

5 郡山市清水台2-1-

17 特定非営利活動法人

うつくしまNPOネットワ

ーク

☎923-1119・FA

X991-7241

Eメール office@npo-cen

ter.jp

申請書送付先▼〒960-

8633 福島市大町3-

25 東邦銀行 法人営業

部 公益信託うつくしま基

金事務局☎024-523

13131(代表)

夜回り先生 水谷 修さん講演会

演題 「だいじょうぶ」 ～いま、若者たちに求めること～

●日 時：7月9日(木) 18:30～・受付17:45～

●会 場：郡山市民文化センター 中ホール

●定 員：800名

●参加料：無料 ※整理券が必要です。

●申込方法：往復はがきに、①お名前 ②ご住所 ③連絡先 ④応募理由を記入し、特定非営利活動法人ほっとスペースRへ(住所：〒963-0111 郡山市安積町荒井字道場6)。応募多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。

●問合せ：ほっとスペースR

☎946-2680



ボランティア活動をはじめとする自主的な社会貢献活動や地域づくり活動を行う団体、グループ及び個人に対して助成します。

内容▼スタートアップ支

援コース：これから公益的

活動を始めようとする団

体、グループ、個人の活動

へ助成

上限▼10万円(10/10の

範囲内)



レッツ！学校ボランティア

第1回
上伊豆島小学校

上伊豆島小学校では、毎年、全校生で藤田川清掃を行ったり、老人ホーム「桔梗（ききょう）」の慰問を行ったりしています。

藤田川清掃では1・2年生が川の周辺のごみひろいを、3～6年生が川の中のごみひろいを行います。「私たちの地域の大切な川をもっときれいにしたい。」という願いをこめて、一人ひとりが熱心に活動しています。



藤田川清掃の様子

また、毎年一つの学年が『桔梗』を訪問して、お年寄りの方々と交流を深めています。一緒に歌ったり踊ったりすることを通して、「感謝の心」や「思いやりの心」などを学んでいます。



●ボランティアを体験して（5年 添田 愛梨さん）
『桔梗』を訪問して、リコーダーを演奏したり歌を歌ったり。おじいさんやおばあさんと触れ合うことができ、とってもうれしかったです。また行きたいです。

★情報を

お寄せください

次号は、8月発行予定です。内容は、「イベント・助成金情報」等の予定です。

なお、各コーナーに掲載をご希望される情報もお待ちしています。締め切りは、7月5日（日）です。※相談のうえ、掲載させていただきます。

★ボランティアと

市民活動の問合せ

アシストパーク郡山また

は、郡山市社会福祉協議会

ボランティアセンター（総

合福祉センター）☎924-

2968）へ。

編集メモ



今月号から、機関紙が右開きとなり、内容もリニューアルしました。取材中のいろいろな出会いに、感動しました。ご感想など、お寄せください。

♪ ♪ ♪

●発行・編集：市民協働推進課
市民活動サポートセンター
（アシストパーク郡山）

●〒963-8002 郡山市
駅前二丁目11番1号（ビッグ

アイ6階）

●☎・FAX：924-3352

●Eメール：

shimi-n-support@city.ko
riyama.fukushi.na.jp

●6・7月の休館日：毎週月

曜日

●開館時間：午前10時～午
後7時まで